

1.2.4 変化するイノベーション観

軽部大*

2019年9月

リード文

キーワード

本文

これまでの一連の議論から明らかとなるのは、イノベーションが企業の栄枯盛衰に与える影響の程度とパターンに関しては極めて多様である、ということである。また、我々は、イノベーションに対する見方をいくつか修正する必要があるであろう。

第一に、シュンペーター仮説として後に経済学者によって定式化された問題は、企業の栄枯盛衰を巡る現象の一部にしか過ぎないことに注意が必要である。既存企業か新興企業かという二項対立に基づく定式化は素朴な問題提起としてはありうるものの、どちらがより有利に機能するかどうかは、企業が保有している経営資源や蓄積した知識、そして組織ルーチンに依存し、他方では環境変化のあり方に依存している。したがって、新興企業か既存企業かという表面的な企業主体や市場地位の特徴に注目するだけでなく、イノベーションがもたらす変化がどのようなレベルで顕在化するか、その変化は既存の経営資源や知識、そして組織ルーチンにどのような影響をどの程度与えるのか、という点にもっと注目する必要がある。

例えば、画期的イノベーションか否かという問題も、どのレベルの変化に注目するかによって大きく変わってくる。また、もたらす変化は、企業主体によって大きく異なるという点で、どの企業にとっても一義的な「画期的イノベーション」が存在するわけではない。また、イノベーションがもたらす変化が、非連続的か連続的かという問題も、どの時点からどの時点までの変化として捉えるかに依存している。このことは、変化をどのレベルで、どのように個人と組織が<認識し、解釈し、評価し、対処するか>という問題に企業の栄枯盛衰が関係していることを示唆している。

第二に、イノベーションの競争へのインパクトは、イノベーションのパターンがそうであったように、純粹に科学や技術の再現可能な知識によって構成される法則定立的世界によってのみ支配されるわけではなく、むしろ人間の意図や主観的な解釈や評価によっても大きな影響を受ける社会的

* 一橋大学イノベーション研究センター

プロセスでもある*¹。組織を特徴付ける組織文化や価値観、組織慣習に加えて、顧客との関係性や販売体制にも影響を受ける。顧客との関係性はこれまでの取引関係のあり方や取引期間の長さにも影響を受ける。その他、当該国の政策や制度にも影響を受ける。そもそも新しい技術をどのように受容するかは、顧客の価値観やそれに基づく評価にも依存している。したがって、技術はその技術が埋め込まれる社会や社会で共有される価値観とは無関係ではいられない。それゆえに、イノベーションの競争インパクトを検討するには、単に技術の優劣のみを検討するだけでなく、技術と社会の関係性にこれまで以上に注目する必要がある。

戦略のあり方を検討する 1.2.5 で詳述するように、栄枯盛衰を主体的にコントロールすることは至難の業である。新しいことに挑戦するためには不確実性やリスクがある。既存の事業に最適化した経営システムやそこで働く人々は変化を嫌い、目に見える確実な現状の事業に固執する傾向がある。ほとんど不可能だとあきらめるか、困難だけれども主体的に変化を主導するためには何をしなければならないか。この問題を考えるのが、イノベーションのマネジメント・戦略である。

尚、本章は一橋大学イノベーション研究センター (2017) 第 3 章を要約したもので、詳細は本書をご覧ください。

References

- Abernathy, W. J. and Clark, K. B. (1985). Innovation: Mapping the winds of creative destruction. *Research policy*, 14(1):3–22. <https://pdfs.semanticscholar.org/0d0d/b78f584979413a28bc174b41188c804052aa.pdf>.
- Adner, R. (2012). *The Wide Lens: What Successful Innovators See That Others Miss*. Penguin. <http://amp.tuck.dartmouth.edu/news-knowledge/the-wide-lens>.
- Bijker, W. E., Hughes, T. P., and Pinch, T. J. (1987). *The Social Construction of Technological Systems: New Directions in the Sociology and History of Technology*. MIT Press. https://books.google.co.jp/books?hl=ja&lr=lang_ja|lang_en&id=SUCtOwms7TEC&oi=fnd&pg=PR9&dq=The+Social+Construction+of+Technological+Systems:+New+Directions+in+the+Sociology+and+History+of+Technology&ots=RwxA-Kel0q&sig=tLYzsEBfcfdrrxxP83u0zQ9cVWFY.
- Brandenburger, A. M. (1998). *Co-opetition*. Crown Business. https://books.google.co.jp/books/about/Co_opetition.html?id=THhfPgAACAAJ&redir_esc=y.
- Chandy, R. K. and Tellis, G. J. (1998). Organizing for radical product innovation: The overlooked role of willingness to cannibalize. *Journal of marketing research*, pages 474–487. <https://www.jstor.org/stable/3152166>.
- Christenson, C. (1997). *The innovator's dilemma*. Harvard Business Review Press. <https://www.hbs.edu/faculty/Pages/item.aspx?num=46>.

*¹ 技術進歩の社会構成主義的見方については、次の書籍を参照されたい。Bijker et al. (1987)

- Cusumano, M. A. (1988). Manufacturing innovation: Lessons from the Japanese auto industry. *MIT Sloan Management Review*, 30(1):29. <https://sloanreview.mit.edu/article/manufacturing-innovation-lessons-from-the-japanese-auto-industry/>.
- Henderson, R. M. and Clark, K. B. (1990). Architectural innovation: The reconfiguration of existing product technologies and the failure of established firms. *Administrative Science Quarterly*, pages 9–30. <https://www.jstor.org/stable/2393549>.
- Leonard-Barton, D. (1992). Core capabilities and core rigidities: A paradox in managing new product development. *Strategic Management Journal*, 13(S1):111–125. <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/abs/10.1002/smj.4250131009>.
- Lieberman, M. B. and Montgomery, D. B. (1988). First-mover advantages. *Strategic Management Journal*, 9(S1):41–58. <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/abs/10.1002/smj.4250090706>.
- Reed, R. and DeFillippi, R. J. (1990). Causal ambiguity, barriers to imitation, and sustainable competitive advantage. *Academy of Management Review*, 15(1):88–102. <https://journals.aom.org/doi/abs/10.5465/AMR.1990.4308277>.
- Rosenberg, N. (1995). Why technology forecasts often fail. *The Futurist*, 29(4):16. <https://www.questia.com/magazine/1G1-17100211/why-technology-forecasts-often-fail>.
- Simon, H. (1947). *Administrative behavior; a study of decision-making processes in administrative organization*. Macmillan. https://books.google.co.jp/books?hl=ja&lr=lang_ja|lang_en&id=_obn42iD3mYC&oi=fnd&pg=PA1&dq=Administrative+behavior&ots=_YhbzxmeT&sig=3NYwSzJh9bJaUiLhMIytMWNEcQ0.
- Stalk, G. (1990). *Competing against time: How time-based competition is reshaping global markets*. Simon and Schuster. https://books.google.co.jp/books?hl=ja&lr=lang_ja|lang_en&id=pRYK6y43WTwC&oi=fnd&pg=PT8&dq=Competing+against+time:+How+time-based+competition+is+reshaping+global+mar&ots=yu--fNb513&sig=Cv5j3P7Wf3khDXbyIBEQhF-i6w8.
- Stark, D. (2011). *The sense of dissonance: Accounts of worth in economic life*. Princeton University Press. https://books.google.co.jp/books?hl=ja&lr=lang_ja|lang_en&id=mBu0A5QylGsC&oi=fnd&pg=PP1&dq=The+sense+of+dissonance:+Accounts+of+worth+in+economic+life&ots=5SBerWED4T&sig=5mvYZT1gFoVbJkBZmWFhw_uF8wk.
- Teece, D. J. (1986). Profiting from technological innovation: Implications for integration, collaboration, licensing and public policy. *Research Policy*, 15(6):285–305. http://www.politicipublice.ro/uploads/technological_innovation.pdf.
- Tripsas, M. and Gavetti, G. (2000). Capabilities, cognition, and inertia: Evidence from digital imaging. *Strategic Management Journal*, pages 1147–1161. <http://www.people.hbs.edu/mtripsas/articles/Tripsas&Gavetti2000.pdf>.
- Tushman, M. L. and Anderson, P. (1986). Technological discontinuities and organizational environ-

ments. *Administrative science quarterly*, pages 439–465. <https://www.jstor.org/stable/pdf/2392832.pdf>.

一橋大学イノベーション研究センター, editor (2017). イノベーションマネジメント入門. 日本経済新聞社. <https://www.nikkeibook.com/book/79114>.

軽部大 (1998). 知的所有権の保護による新しい競争戦略: インテル社の事業展開の事例研究. 一橋研究, 22(4):1–27. <http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/bitstream/10086/5738/1/kenkyu0220400010.pdf>.

後藤晃・永田晃也 (1997). イノベーションの専有可能性と技術機会-サーベイデータによる日米比較研究. NISTEP REPORT 48, 科学技術政策研究所 第 1 研究グループ. <http://data.nistep.go.jp/dspace/handle/11035/530>.

関連データ・ソース

関連する拠点授業科目、関連する研究プロジェクトの情報